

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子どもサークル新潟西			令和7年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・指定基準を超える広さを確保しています。併せて個別の訓練室を設けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・指定基準を満たし、適切に職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	・視覚的な支援により構造化された環境に工夫しています。事業所の入り口は二階の為、必要に応じて職員が介助を行い適切に対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・活動によって空間を区切るなど、こども達の過ごしやすい環境作りに配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・個別の訓練室を設け、必要に応じた活動できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・日々の業務を見直す機会を定期的にかけて、職員全体で業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・定期的に保護者アンケートを実施してニーズを把握し、日頃から伺うご意見と併せて、運営に生かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・定期的に行い、日々の業務に生かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		・現在のところ、第三者による外部評価は実施していませんが、今後定期的に行うことを検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・事業所内で定期的に研修を実施しており、外部研修への参加も行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・職員間で話し合い、最適なプログラムとなるよう計画しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・児童ごとに、個別活動・集団活動の時間を設定しており、保護者の意見を聞きながらその児童に合った計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・支援計画は、児童発達支援管理者と共に、こどもと関わる職員が意見を出し合いながら計画しています。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・放課後等デイサービス計画は職員間で共有しながら支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・アセスメントシート等の各種を用いて、児童への理解・分析を行い、日々の療育に繋げております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・保護者と情報共有する中で、様々な視点から、それぞれの児童に合った支援を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・児童発達支援管理責任者や、直接支援を行う職員が意見を出し合いながら最適なプログラムを計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・固定化しないよう、月ごとに毎日のプログラムを組み立てています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・児童ごとに、個別活動・集団活動の時間を設定しており、その児童に合った計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・支援開始前に職員間で利用児童についての支援内容や送迎内容の確認を行い、適切な支援が出来るように取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・支援終了後には、必ず利用者ごとに記録を作成し職員間で共有して、支援計画に生かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・日々の支援については必ず記録を作成しております。また、送迎時の関係機関からの引継ぎ事項やご意見も含めて記録し、職員間で共有しています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・定期的にもモニタリングを実施しており、保護者や職員からの意見を反映して次の計画作成に活かしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		・ガイドラインの総則に基づき、利用児童のニーズに合わせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・児童の特性や状況に応じた支援を行っています。	
		26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理者が参加し、必要に応じて担当職員が同行しています。
		27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・各関係機関と連携を行っていて、体制を整えています。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・保護者を通じて確認させて頂くことの他に、必要に応じて学校とも連携し適切な支援が行われるように情報共有しています。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		・個人情報保護に配慮しながら、児童情報の共有を関係機関を行い、継続的な支援が行えるように取り組んでいます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・他事業所からの要望があれば、保護者やご本人への了解を得たうえで情報共有を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・そのような機会は十分ではないため、機会を増やせるように取り組んでいます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	・長期休みは地域の遊び場に行き、その場にいる子ども達と関わっています。今後のそのような機会を増やしていけたらと思います。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	・管理者や児童発達支援管理責任者が自立支援協議会へ参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳や送迎時のご報告等で児童の様子や活動内容をお伝えしています。また、事業所ブログでも記載しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・保護者支援については、今後更に力を入れ取り組んでいます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に、重要事項等説明書などの各種を丁寧に説明できるように心掛けています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・放課後等デイサービス提供を作成するにあたり、利用者本人の意思確認と、保護者の意向確認を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・放課後等デイサービス計画を示しながら丁寧な説明を行い、同意を得るように心掛けています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・日々の送迎時等いつでも相談に応じています。また必要な場合、面談も行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	5	・家族交流の機会は少ないため、今後設けていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・苦情関する窓口、担当者を設置し、解決に向けて迅速に対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・事業所のブログに日々の活動の様子を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・契約時に個人情報の取り扱いについてご説明し、ご理解頂いております。事業所内部でも職員研修を行い、個人情報保護の対応をしっかりと行っています。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・利用児童やその保護者の一人一人に合わせた対応について検討し、適切に行っています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	・地域の催しに参加するなど、地域住民の方とコミュニケーションを図っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・各種マニュアルを策定・周知し、訓練を行っております。保護者に向けて、日々のブログ等でお知らせしております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・業務継続計画（BCP）を策定しており、災害発生時を想定し研修と訓練を行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・職員全員で情報共有を行っております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・契約時に食物アレルギーに関する確認を行い、職員全員で情報共有を行っております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・安全計画を策定しており、計画通り安全に必要な研修や訓練を行っております。また、安全管理が十分された中で必要な支援を行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・ブログや面談等で保護者に向けて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・ヒヤリハット事例集を作成し、職員会議等で振り返りを行うことで安全なサービスの提供に役立っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・定期的に虐待防止研修を行い、日々の支援内容を振り返る機会を設けています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・やむをえず身体拘束を行う可能性がある場合には、必ず組織的に決定し保護者の方に十分なお説明を行います。ご同意を得たうえで、その内容を支援計画に記載しています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル新潟西		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

〇 4

2

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様のお悩みやお困りごとなど、いつでも相談に乗ることが出来る環境を整えている。	できるだけ面談時間をたくさん作るように努力しています。面談のご要望があれば即日対応できるように迅速さを心がけています。また内容をしっかりと聞き、必用時は専門職との面談もじっくりと取らせていただいております。	月に1回以上のペースで面談を行っていただくと考えています。専門職との面談も充実できるように時間を柔軟に活用していきたいです。
2	集団課題の内容がしっかりと5領域に沿って考えられており充実している。	運動系、制作系、クイズ系、ゲーム系、SST、ビジョントレーニングなど日替わりで行い、まずは子供たちが楽しんで取り組める内容で、複雑過ぎず、頑張れば最後までしっかりと取り組み、必ず「達成感」を味わえる物となっております。そしてアセスメントがきちんととれる内容で、何度も繰り返し行い、成長の様子としっかりと向き合っています。	現在もかなりの時間をかけて考案しています。課題終了後に職員みんなで振り返りを行い、より良い課題になるよう意見を出し合っております。職員自身が楽しんで出来る課題をそして子供たちの笑顔がもっともっと増える課題をこれから考えていきます。
3	専門職による個別訓練の充実。	言語訓練、運動機能訓練、机上課題訓練等、専門職による個別訓練を行っております。児童発達管理責任者が丁寧に保護者面談を行い、その後専門職による聴き取り面談を時間をかけて丁寧にしています。保護者様のニーズにできるだけ答えることができる様全力で努めています。	専門職は自分の専門性を高めるために外部研修を受けたり自主的に学んだり自己研鑽に力を入れています。そこで学んだことを個別訓練で活用できる様、また集団課題でも生かすことができる様、他の職員にも共有し支援の向上を目指しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会開催や茶話会など保護者通のつながりの場の提供。	コロナやインフルエンザの流行が主な要因ではあるが、午前児童発達支援事業、午後放課後等デイサービスの多機能で営業しており、時間や場所の確保に苦戦しております。	土曜日、祝日の有効活用。またコミュニティーの場の確保等、また日数を何回かに分けて学年ごとに行う等の工夫が必要。
2			
3			